



## ● 関西BNCT共同医療センターのご紹介 ●

関西BNCT共同医療センター長  
放射線腫瘍科 科長 二瓶 圭二

みなさん、こんにちは。

がん治療の進歩は目覚ましく、以前は治療が困難とされていたがんも、最近では治療ができるようになってきています。最先端のあたらしいがんの治療法「BNCT」を紹介します。

BNCT(Boron Neutron Capture Therapy、ホウ素中性子捕捉療法)は、ホウ素薬剤と中性子線という放射線を組み合わせて治療する方法です。

ホウ素薬剤が点滴で体内に投与されると、がん細胞にたくさんのホウ素が取り込まれます。がん細胞に取り込まれたホウ素に中性子線を照射すると、核反応によって細胞内に放射線が発生します。発生した放射線は細胞の中にとどまるため、がん細胞だけを損傷します。正常細胞にはホウ素薬剤がほとんど取り込まれないため、損傷は最低限におさえられます。このようにBNCTはがん細胞を選択的に破壊することができる画期的な治療です。(図)

長年の研究、臨床試験を経て、いよいよ本年6月から保険診療が開始されました。現在保険診療の対象となっているのは「切除不能な局所進行又は局所再発の頭頸部癌」です。治療費総額は約400~500万円ですが、通常の保険診療と同様、1~3割の自己負担額となります。また、保険診療においては「高額療養費制度」が利用できます。頭頸部癌につづき、来年度には脳腫瘍についても保険適応となる見込みとなっています。今後も、さらに適応拡大を目指して、研究、開発が進められています。

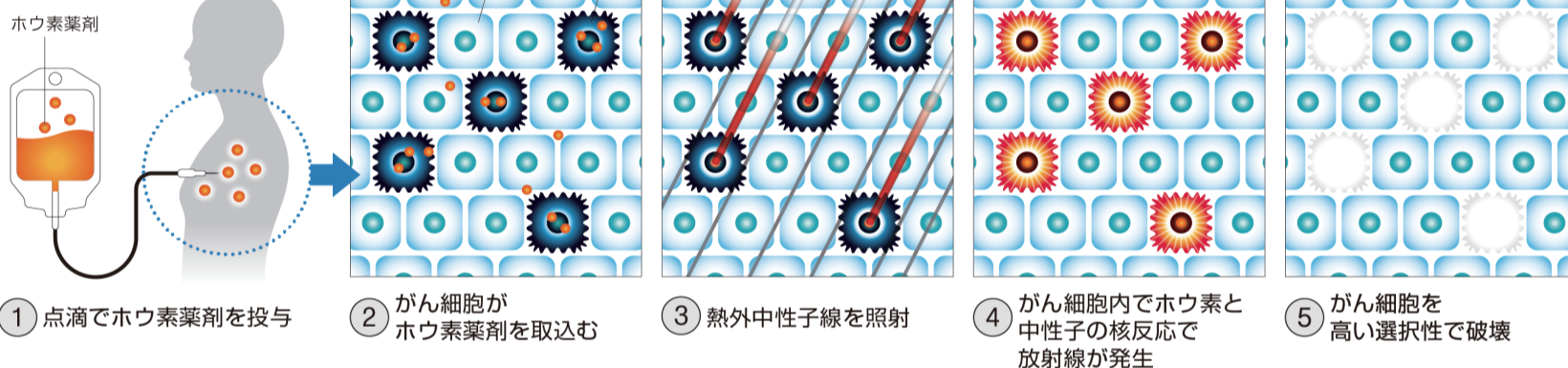
現在国内2か所で治療を受けることができますが、ここ大阪医科大学の関西BNCT共同医療センターは、西日本の拠点として重要な役割を担っています。適応のある患者さんに確実に治療を届けられるよう今後もスタッフ一同努力してまいります。

施設外観



BNCT治療室

BNCT説明図



- ① 点滴でホウ素薬剤を投与
- ② がん細胞がホウ素薬剤を取込む
- ③ 熱中中性子線を照射
- ④ がん細胞内でホウ素と中性子の核反応で放射線が発生
- ⑤ がん細胞を高い選択性で破壊



### 看護スペシャリスト vol.21

専門看護師・認定看護師の活動

がん放射線療法看護認定看護師 後藤 純子

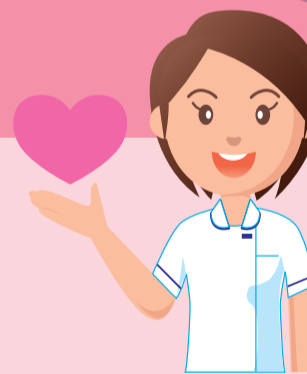
この度、BNCTの保険診療が始まり、私はがん放射線療法看護認定看護師として、患者さん一人ひとりに満足いく看護が提供できるように、専門的な知識をもって支援させて頂いています。

治療を受ける患者さんは、幾つかの検査を経て、ようやく治療を受けることができます。医師から治療ができると判断された

『新しい治療「BNCT」が安心して安全に受けられるようにチームでサポートしています』

時、患者さんは心から喜ばれます。その反面、新しい治療を受ける不安を感じられる方も多くおられます。

不安を抱えた患者さんのよき理解者・代弁者となり、医師、看護師、放射線技師、医学物理士、薬剤師をはじめとする医療チームで、安心して、安全に治療が受けられるようにサポートしています。



## TOPICS

ドッキリ! アイスクリーム屋さん登場!! 栄養課のスタッフがご提供



アイスクリーム屋さんになりきった栄養課のスタッフが、サプライズで入院中の子どもたちの病室に登場しました。目の前でアイスクリームを盛り付け、星やハートのクッキーと果物をトッピングし、ひんやり冷たいアイスクリームを食べていただきました。「わあー、アイスー!」と子ども達の喜ぶ声に病院全体が笑顔に包まれたおやつタイムでした。

はいどうぞ! 美味しいよ!



調理風景



メニューのアイス盛り合わせ



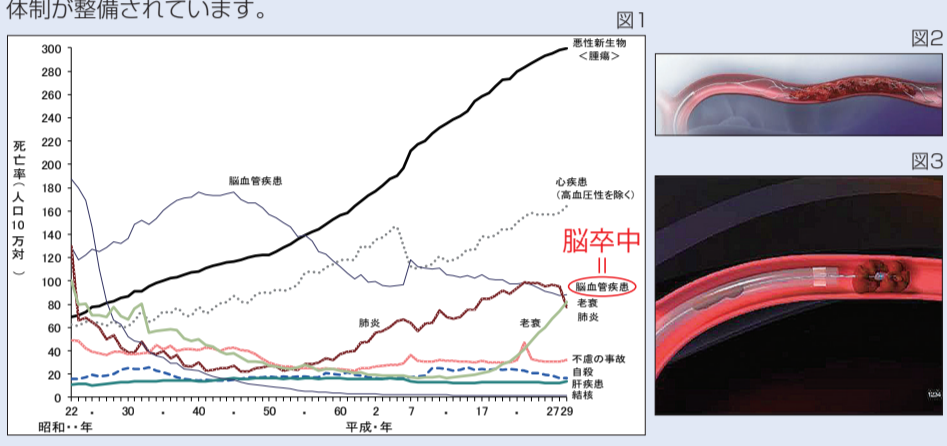
# 市民公開講座

2020年9月19日開催中止分

## 脳卒中を防ごう、早く治そう！ 脳神経外科・脳血管内治療科 平松 亮



脳卒中は医学用語で脳血管疾患と言われ、大きく脳梗塞・脳出血・くも膜下出血に分類されます。厚生労働省が2017年に報告した「人口動態統計の概況」によると、脳血管疾患は疾患別死因の第3位でした(図1)。その内訳は「脳梗塞」が最も多く6万2,122人で、続いて「脳内出血」、「くも膜下出血」、「その他の脳血管疾患」の順でした。最大の脳梗塞は、病型が大きく分けて3つに分類されます(アテローム血栓性脳梗塞、ラクナ梗塞、心原性脳塞栓症)。アテローム血栓性脳梗塞およびラクナ梗塞の発症予防として血圧管理が最も重要であり、それ以外に血糖・コレステロール・中性脂肪の管理と禁煙・大量の飲酒を避けるなど生活習慣病の管理も重要で、その再発予防薬は抗血小板薬です。一方、心原性脳塞栓症は現在の高齢化社会により不整脈(心房細動)を有した高齢者が急増しているため、近年増加傾向にあります。その再発予防薬は抗凝固薬で、従来はワルファリンのみでしたが新規抗凝固薬が4種類新たに使えるようになりその効果は期待された通りです。脳梗塞の急性期治療は発症から4.5時間以内であれば静注血栓溶解剤療法を行い、6時間以内であれば血栓溶解剤療法の有無にかかわらず血栓回収療法(ステントリトリーパー(図2)または吸引カテーテル(図3))を行う必要があります。このように急性期脳梗塞治療は時間制限があり、発症からより早く血栓溶解療法または血栓回収療法が行われることが必要です。当院では24時間365日脳梗塞を含めた脳卒中の患者さまの受け入れを行っており、いつでも手術可能な体制が整備されています。



# 2021年1月11日は 通常どおり開院いたします

お知らせ

2021(令和3)年1月11日(成人の日)は、  
通常どおり開院いたします。

- シャトルバス(JR高槻⇄大阪医大)も通常どおり運行いたします。
- 各診療科の詳細につきましては、窓口でお確かめください。



お願い

## 入館時の検温にご協力ください

病院の各出入口において、スタンド型の検温装置を設置しています。  
検温を済ませてからご入館くださいますようお願いをいたします。



7号館 検温風景

**37.5℃以上の発熱・風邪のような症状がある方は、各診療科の受付へ行かれる前に必ず総合案内にお声掛けをお願いいたします。**

## 大阪医科大学病院ボランティアグループ「ふれあい」の活動状況ご報告

2月20日から活動を自粛しておりましたが、一部のグループは規模を縮小して活動を再開しております。

### 病院ボランティアを募集しています

院内でボランティア活動をしていただく「病院ボランティア」を募集しています。大阪医科大学病院ボランティアグループ「ふれあい」が活動しています。

- 募集対象: 満16歳から75才までの心身共に健康な方
- 応募方法: 随時募集しておりますので、まずはお電話でお問い合わせください。
- 活動内容: 病院玄関での外来患者さんのご案内・誘導、患者さん図書書の整理・入れ替え、季節の飾り(折り紙)、園芸・植栽、縫製、車いす空気圧定期点検、小児科病棟でのイベント企画など
- お申込み・お問い合わせ先: 広域医療連携センター ボランティア支援室 山田、梶 TEL:072-684-7230(直通) お気軽にお問い合わせください。

ふれあい花壇(本館・図書館棟前)

お見送り着(小さな赤ちゃんの仏衣)産科病棟に提供



グループ	活動再開状況
初診・患者誘導	規模縮小して活動再開
患者さん図書	当面活動自粛
エコキャップ	規模縮小して活動再開
グリーン	規模縮小して活動再開
縫製	3密回避で活動再開
季節の飾り・折り紙	3密回避で活動再開
小児病棟活動	当面休止
車いす空気圧点検	アイシールド着用等対策をして活動再開
切手収集	3密回避で活動再開
その他(通信等)	活動再開

# 「大学病院新本館」建築ニュース

病院新本館建築プロジェクトニュースvol.02を発行しました。



現在の工事中写真

病院新本館A棟建築工事は、8月7日(金)の地鎮祭を経て、8月31日(月)に着工しました。2022年のA棟完成に向けた本格的な工事が始まったこととなります。病院新本館は、「バイオフィリア」をデザインコンセプトとし、患者さんが自然と触れ合うことで健康や幸せを得られる空間の提供を目指します。詳細は、病院新本館建築プロジェクトニュースvol.02をご覧ください。

工事期間中、皆様にはご不便をおかけしますが、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 病院新本館 - Super Smart Hospital - 建築プロジェクトニュース vol.02



### ご挨拶

2020年4月1日、大阪医科大学病院院長の職を拝命しました。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、急遽、新型コロナウイルス感染症対策委員会を立ち上げ、感染防止と患者さんの安全確保を最優先として、感染防止対策を徹底してまいります。また、感染防止対策として、感染防止対策委員会を立ち上げ、感染防止対策を徹底してまいります。また、感染防止対策として、感染防止対策委員会を立ち上げ、感染防止対策を徹底してまいります。

超スマート医療を推進する大学病院 -Super Smart Hospital-  
ご挨拶  
新本館建築工事地鎮祭を開催しました  
工事進捗  
立会い  
工事に伴う院内からの院内への歩行者の全面的な制限について  
シャトルバスの運行ルート、乗降場所の変更について  
「大阪医科大学創立100周年記念事業報告」ご協力をお願いいたします。